

「多層オミックス解析による精神疾患の治療標的分子の同定と新たな治療法開発」

下記の研究に参加し、脳脊髄液や血液をご提供いただいで方へ

「脳脊髄液検査を用いた統合失調症・気分障害の生物学的マーカーの開発」

「ナショナルセンター・バイオバンクの検体収集体制の構築」

「血液検査による統合失調症の診断法に関する研究」

「気分障害・精神病性障害に関する遺伝子解析研究—第二期—」

このたび日本医療研究開発機構（AMED）の支援を得て、皆さまからいただいた検体を用いた多施設共同研究を行いたいと思います。具体的には、下記の研究機関と連携して網羅的な解析（一度に大量の分子を測定し、分子の種類ごとの総合的な解析を行う）を行い、統計学的な解析により精神疾患の目印となるマーカー分子を見出し、第一三共株式会社および第一三共 RD ノバーレとともに治療薬の開発を目指します。研究を加速させるため、この解析には、これまでに当センターで得られた解析データの一部も用います。

施設	解析内容
国立がん研究センター	DNA 遺伝子配列の個人差の全体的な解析
国立成育医療研究センター 国立長寿医療研究センター	DNA からつくられる小さい設計図 (RNA) の網羅的解析
国立循環器病研究センター	タンパク質の網羅的解析
国立衛生研究所	アミノ酸や糖など代謝物質の網羅的解析
慶応大学	アミノ酸や糖など代謝物質の網羅的解析 DNA の調節に関わる修飾の網羅的解析
第一三共株式会社 第一三共 RD ノバーレ	網羅的解析データの統計的解析 絞りこまれた候補分子の解析

髄液や DNA は、個人名を外して番号に置き換えて（匿名化）解析に出します。また、DNA の情報は研究以外には用いません。この解析から生まれる膨大なデータをデータベース化して、第一三共とともに治療標的を探索・検証して、同社が薬の開発を行います。ただし、薬の開発は成功するとは限らず、実用化にも 5～20 年かかります。研究期間は 2021 年 3 月末までを予定しております。解析結果は、精神疾患だけでなくガンなど他の疾患の治療標的の探索にも役立つ可能性があります。

研究資金はAMEDと第一三共から支援いただきます。

さらに詳しい情報や、個人のデータなどについては下記の連絡先にお問合わせください。他の参加者の情報や知的財産の保護に支障がない範囲で回答いたします。（あまりに大量のデータ等はお返しするのが困難なこともあります）。

また、この研究へのご参加を取りやめる場合も下記にご連絡ください。保存中の検体やデータを可能な限り削除いたします。ただし、解析の進み具合（公開されたり、統計解析に組み込まれてしまった場合など）によっては、データの削除が困難な場合もございます。

以上、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規則に則って情報を公開いたします。

平成 29 年 7 月

連絡先

〒 187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
神経研究所疾病研究第三部

電話:042-341-2711(代表)

研究責任者:功刀浩

担当者:服部功太郎(hattori@ncnp.go.jp)